

今回登録・拡大された湿地の概要

登録湿地名	所在地	面積(ha)	湿地の特徴	保護の形態	湿地の概要
化女沼	宮城県大崎市	34ha	ダム湖、ヒシクイ(亜種)、マガン等の渡来地	国指定鳥獣保護区 特別保護地区	宮城県北部に位置し、水害防止と農業用水の補給を目的としたダムの水面部分である。ガンカモ類を始めとする渡り鳥の重要な越冬地となっており、特に、ヒシクイ(亜種)は毎年2千羽以上、マガンは毎年3千羽以上の越冬が確認されており、東アジア地域個体群の個体数の1%以上を支える。
大山上池・下池	山形県鶴岡市	39ha	ため池、マガモ、コハクチョウ等の渡来地	国指定鳥獣保護区 特別保護地区	山形県西部に位置し、灌漑用ため池として維持管理されている湖沼の水面部分である。ガンカモ類を始め多くの渡り鳥の全国的に重要な越冬地となっており、特に、マガモは毎年2万羽から3万羽、コハクチョウは毎年千羽から3千羽の飛来が確認されており、東アジア地域個体群の個体数の1%以上を支える。
瓢湖	新潟県阿賀野市	24ha	ため池、コハクチョウ、オナガガモ等の渡来地	国指定鳥獣保護区 特別保護地区	新潟平野のほぼ中央に位置し、江戸時代に灌漑用ため池として造成された瓢湖と、近年瓢湖に隣接して造成された東新池、あやめ池、さくら池から構成されている。毎年、コハクチョウ類が約6千羽渡来しており、特にコハクチョウは東アジア地域個体群の個体数の1%以上を支える。また、オナガガモを始めとするカモ類も多く渡来し、コハクチョウ類を含むガンカモ類の渡来数は約1万8千羽を数える。
久米島の溪流・湿地	沖縄県久米島町	255ha	溪流及びその周辺の湿地、森林、キクザトサワヘビの生息地	生息地保護区管理 地区	沖縄本島の西方約100kmに位置している。久米島の宇江城岳を源流とする溪流及びその周辺の湿地、森林を中心とする地域である。日本で唯一の淡水生のヘビであるキクザトサワヘビをはじめとする希少野生生物の重要な生息地となっている。
琵琶湖 (西之湖、長命寺川 に係る区域拡大)	滋賀県近江八幡市、安土町 (拡大区域分)	382ha (拡大区域分)	琵琶湖最大の内湖、ヨシ群落、原野性植物、寒地性植物の生育地 (拡大区域分)	国定公園特別地域	琵琶湖最大の内湖と琵琶湖北湖に通じる河川からなる。湖の周辺はヨシ群落を主体とする水生植物群落が分布し、ヨシ群落としては我が国で有数の規模である。原野性植物(ナガバノウナギツカミ、ノウルシ等)や寒地性植物(ツルズゲ、ヤナギトラノオ等)などの絶滅危惧種の宝庫として、植物地理学上きわめて重要な場所である。(拡大区域分)